



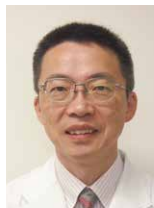
橋本 一郎 (はしもと いちろう)
形成外科・美容外科 科長

- 1962年(昭和37年)生まれ
- 1988年(昭和63年)徳島大学医学部医学科卒業
- 2014年(平成26年)教授就任(形成外科学)

専門分野 ●マイクロサージャリー ●顔面神経麻痺

あご、乳房再建、唇裂口蓋裂、
多合指症などをきれいに仕上げます

病気や異常が治癒しても、見た目に満足できないとその後の社会生活に支障がでるかもしれません。あごもなるべく跡が残らないように消したいと思うでしょう。形成外科・美容外科は、そのような患者さんのハンディを少しでも軽減するように、手術やレーザー治療を行います。美容外科ではレーザーを用いて、しみやくすみ、老人いぼなどの治療を行っています。徳島大学病院は歯科を含む総合病院であり、例えば、乳房再建は乳腺外科と、唇裂口蓋裂は耳鼻咽喉科、矯正歯科、小児科などと綿密な連携を取りながら患者さんに最新で最良の治療を提供します。また、糖尿病による足切断を避けるために、循環器内科なども連携して最新の治療を行っています。気軽に形成外科・美容外科までご相談ください。



安倍 正博 (あべ まさひろ)
血液内科長

- 1958年(昭和33年)生まれ
- 1984年(昭和59年)徳島大学医学部医学科卒業
- 2015年(平成27年)教授就任
(血液・内分泌代謝内科学分野)

専門分野 ●血液内科学

チーム医療で
全人的な診療を提供する

血液・内分泌代謝内科学分野は、内分泌代謝内科と血液内科を担当しております。内分泌代謝内科では、糖尿病と内分泌疾患(ホルモンの異常)を主たる対象疾患としています。特に糖尿病に対しては、糖尿病臨床・研究開発センターとも連携し、最新の進歩を取り入れた集学的な治療と研究を行っております。血液内科では同種造血幹細胞移植や新規治療法を積極的に導入し、難治性血液疾患の治療成績の向上に努めております。両診療科とも、医師と各種医療従事者との役割分担とチームワークを大切に、患者サービスが向上し安全で良質な医療が提供できるように心がけております。